

18
未滿



Sacrifice

for adult only





弾劾とは
名ばかりの

恐怖から来る迫害——



同じ思いを
マスター^{貴方}だけには……



一人にして
くれないかな……

悪いけど

チキチキ



チキチキ



私は……

取るに足らない
田舎の小娘だった

それが
フランスの為と
闘い——

そしていつしか
魔女として
弾劾された

人類の為に一人で
戦う貴方を
否定するならば

魔術協会だろうが
人理継続保障機関
だろうが——
私が燃やすわ



貴方がそれで
いいっていうなら
別にいいけど……

なによ……

マスターったら
まるで——

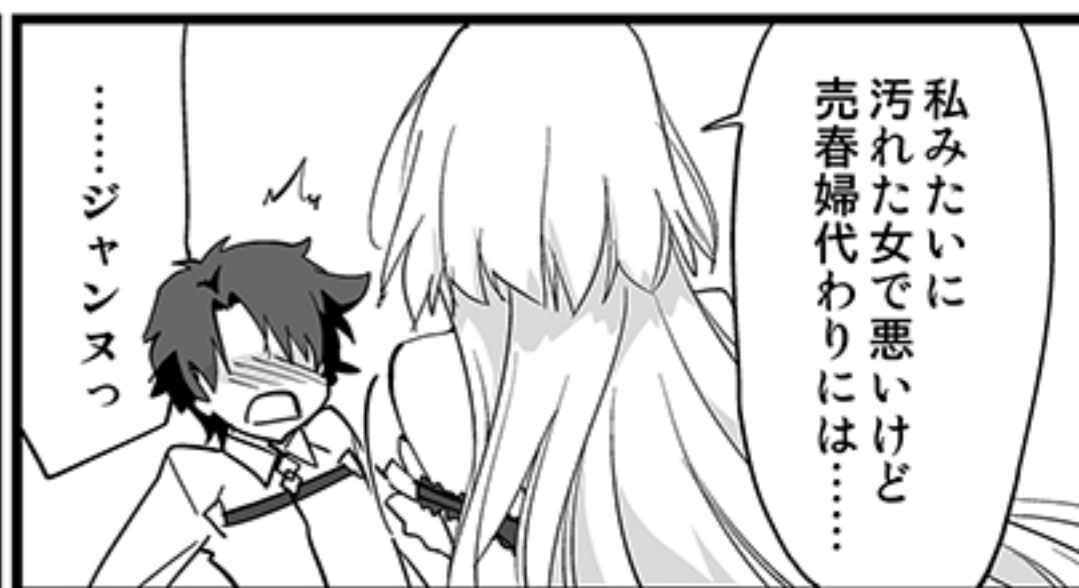
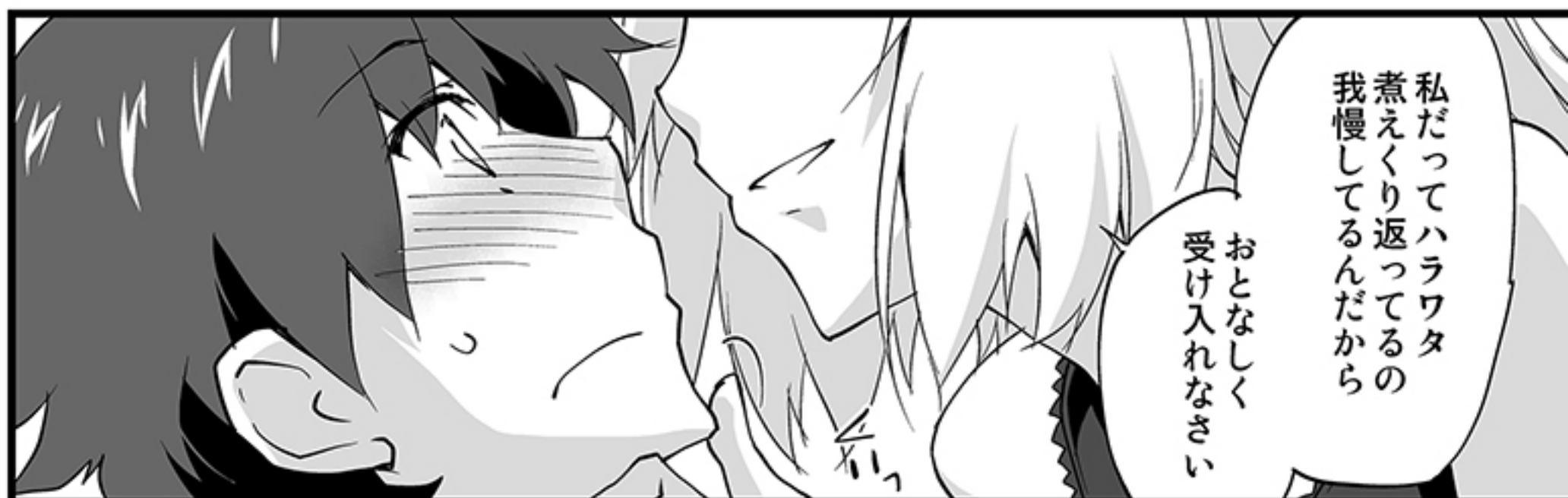


駄目だよ
ジャンヌ

それこそ彼らが
怖がってる通り
じゃないか……

俺なら
大丈夫だからっ

ハグ





ば……っ
馬鹿……

不意打ちは……
卑怯だ……

俺もジャンヌに
触れていい？

——触れたいんだ



……好きに
しなさいよ——

それじゃあ
……脱がすよ

本当に綺麗だよ



ジャンヌ……

私もう
駄目だ——

ああもう……



貴方に
優しい言葉を
かけられたら……

優しく
触られたら……

それだけで
感じてしまう——



おーっ



キスだけで……

いつちやう……っ

おーっ



はあっ

もう——

ホント
ダメ……っ

マスターに
触られるだけで
イカされちゃう
じゃない——

はあっ



何人もの男たちに
触られたけど

全然違う……

好きな人に
触られるのが

こんなに……



こんなに
気持ちいいもの
だなんて



ちゅっ……
ちゅっど!?
どどどどど
舐めてるのよ!!



初めて
だから……

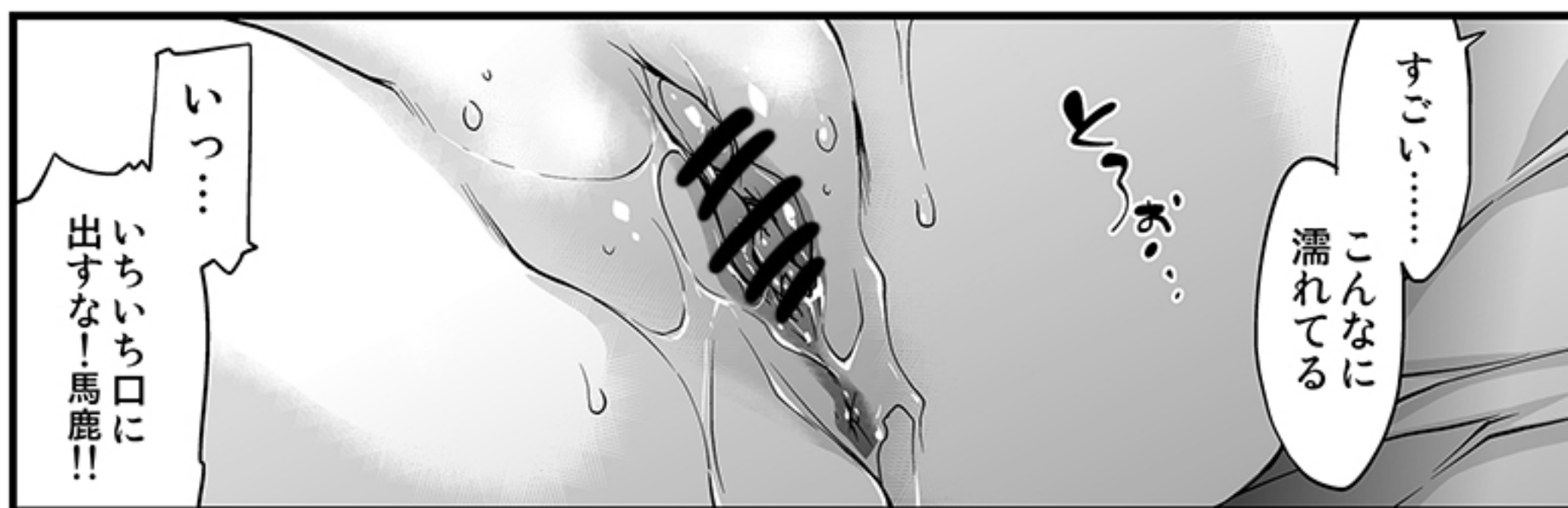
痛くないように
ちゃんとしようと
思ってる……

ごめん

……好きにして
いいわよ

どうせさつきから
イカされまくりで
準備なんてとっくに
出来てるわよ

馬鹿



すごい……
こんなに
濡れてる

と……

いつ……

いちいち口に
出すな！馬鹿！！



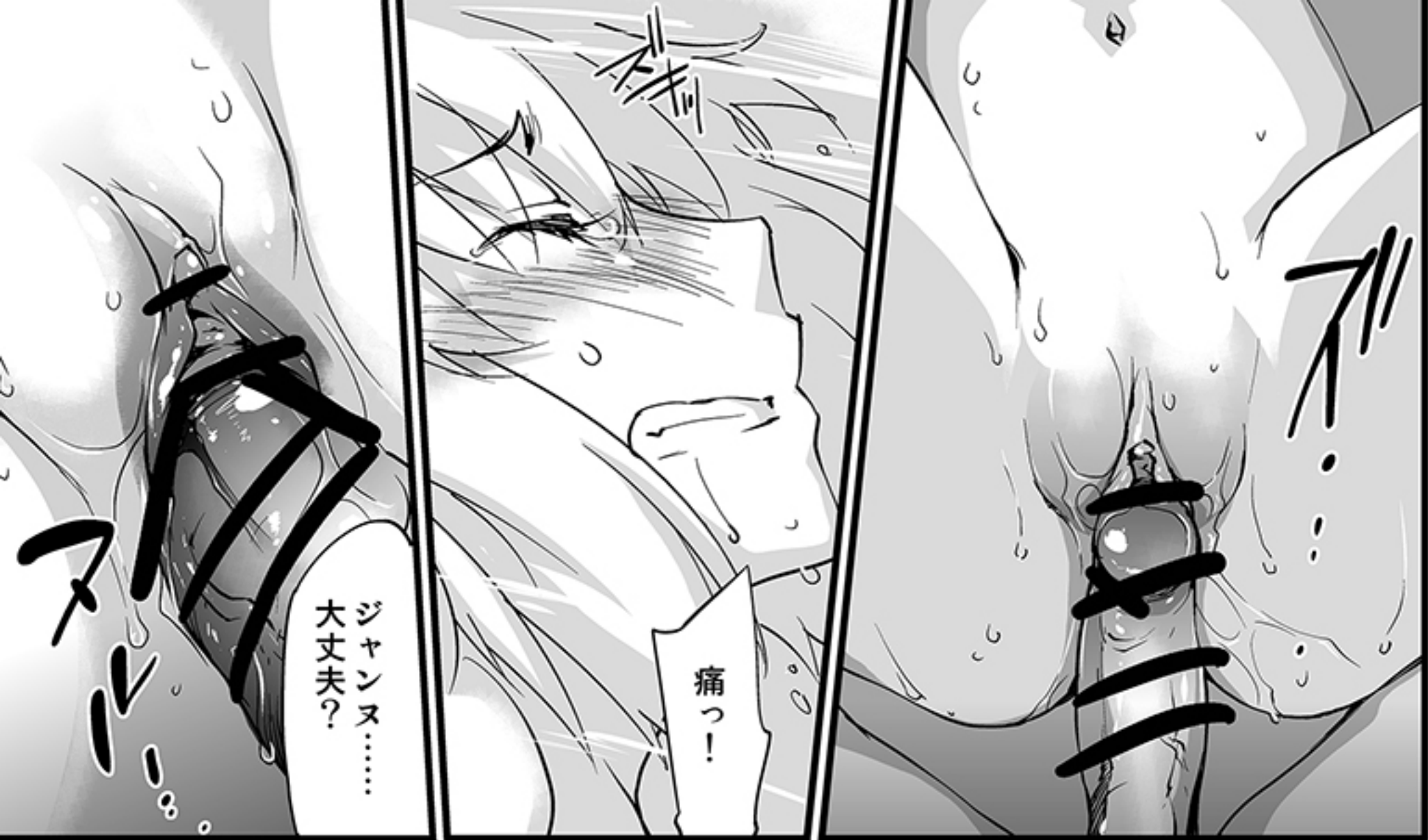
恥ずかしい恥ずかしい
恥ずかしい！違うの！
はしたない女じゃ
ないの！

貴方に
触れられるだけで
幸せなの！

……これ以上
され続けてたら
私をもたない
わよ

いつまで
焦らすのよ

……



ジャンヌ……
大丈夫？

痛っ！



サーヴァントは
全盛期で召喚される
って言うから……

私がまだ
聖女だった頃の
肉体みたいね

——続けなさいよ馬鹿

死ぬ前の私は……
何人もの男に犯されて
燃やされて……

ずっと
苦しみと痛み
に耐えてきたのよ

でもこれは違う

愛しい男性と
結ばれる
喜びの痛み……

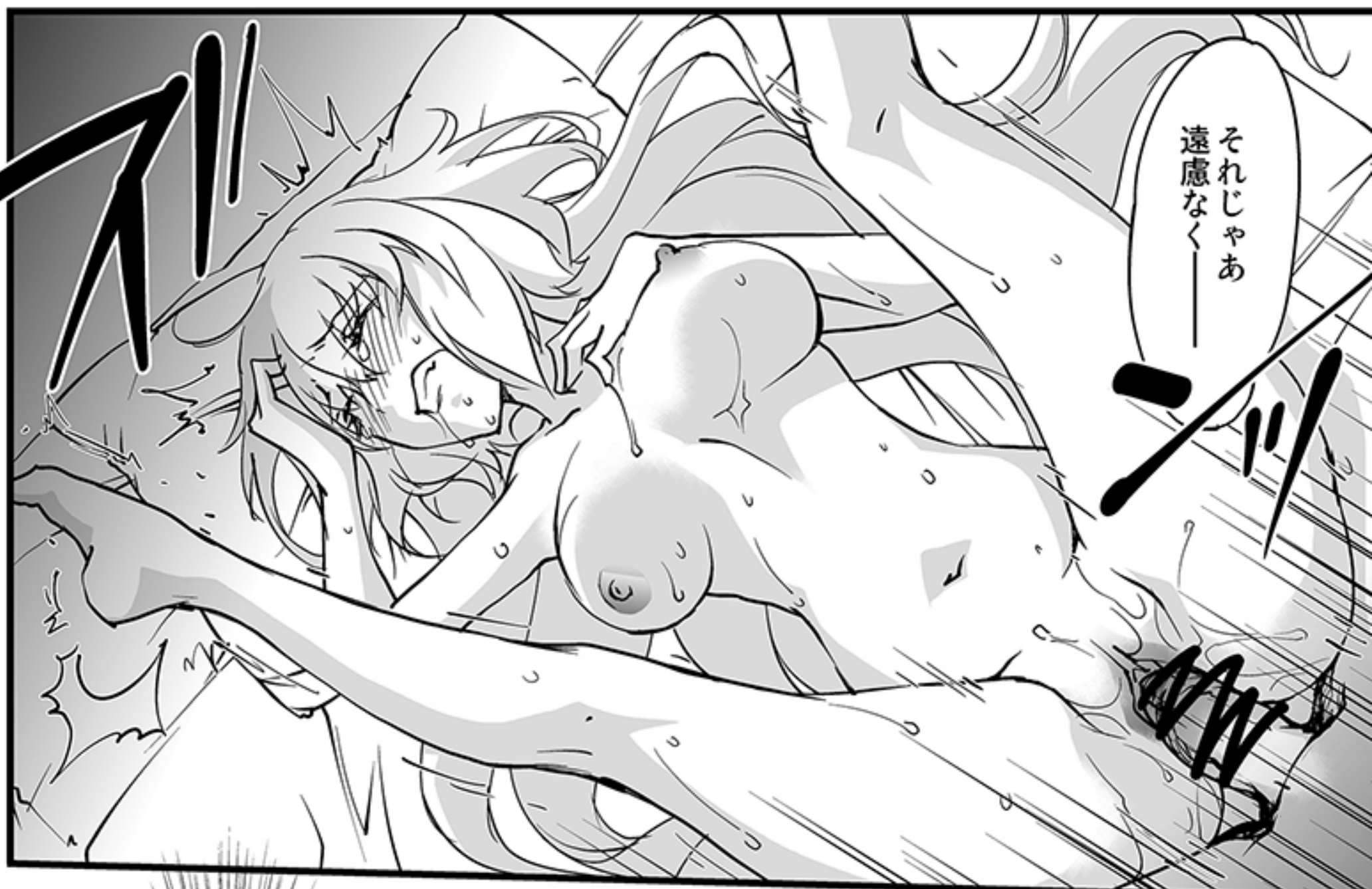
ずっと
欲しかった
痛みなの……

だからこのまま……
お願いマスター……



……
わかった
でも無理
しないでね
ジャンヌ

私は少しくらい
無理して欲しい
んですけど？



それじゃあ
遠慮なく



……っ
そ……うよ
そのまま……
奥まで

馬鹿っ！

こっちは処女
なんだから……っ

ちゃんと加減
しなさいよ!!

あーっ



顔に？

.....
イクなら.....
出来れば顔に
かけて欲しい
んだけど.....



くっ.....
ジャンヌー



聖水みたいな
ものよ.....
貴方で
清められたい
から

わかった

それじゃあ.....
身体起こしてー





すごい……

愛情・快樂
慈愛・親愛……

マスターの色々な感情が
私に注がれている……

なんて気持ちの良さ
なのかしら——

はあ



ジャンヌ？

はあ

これが
マスターの……

ん……
んくっ

ジュジュジュ

ジャ……
ジャンヌ!?



……ジャンヌ？

マスターの全てが

私の中に
入ってくる……

少しの間
こうさせて

私今ものすごく
幸せなんだから

ジュジュ



ねえ
もう一回……
してもう一回も
いい？

もう一回……



ジャ……
ジャンヌっ

ら……め♡

おぬ



ひゃっ!?
おぬ

ほう♡

ほれは
ほひいほ♡



おぬ♡
もう一回♡

おぬ♡

ねえ……
今度はここに……

膣内に頂戴？

おぬ♡

もちろん！
今度はジャンヌの中で
イカせて欲しい

もっともっと
ジャンヌと繋がりたいし
ジャンヌが欲しい——

私もよ……
マスター——



あとは

私を……

マスターで
満たしてよ



それから
私とマスターは

何度もお互いを
求めあい……

何度目かの絶頂の後
私は意識を失った



あの日「輝かしい朝日の中
主の天啓を受け
世界を変えるために
歩き始めた私……」

悔しくて悲しいけれど
障害は乗り越えられぬほど
高くそびえ
私には変えられなかった世界

私は燃え尽き
そして世界は少しずつ
変わった……

私同様 名も無く力もない
市民がその命を燃やし
少しずつ
少しずつ変えてきた——

私が初めて立ち上がった
あの日と同じ光

今度は平和になった
この世界を守る

変わらないように……
歩き始める

マスターと一緒
この世界を守るのが
私の使命——